

愛知県ワクチン接種推進本部 第4回会議 議事概要

日時：2021年4月27日（火）午後1時45分から午後2時30分

場所：愛知県本庁舎6階 正庁

1 挨拶

愛知県感染症対策局 増野技監（本部長）：

愛知県の新型コロナウイルス感染症の感染状況であるが、感染の再拡大や変異株の広がりとともに、本県においても3月後半から新規感染者数が徐々に増加し、第4波に入っている状況と考えられる。

このような厳しい状況を受け、4月20日から5月11日までの間、国の基本的対処方針に基づく「まん延防止等重点措置」が適用され、まん延防止と第4波の抑制に向けて、重点措置を講じているところである。

ワクチンの供給については、3月8日から始まった医療従事者等への優先接種、4月14日に名古屋市で始まった高齢者向け優先接種が行われている中、今後、まとまった数が国から配分されることになり、ゴールデンウィーク明けには、いよいよ本格的にワクチン接種が実施されることとなる。

引き続き、国や市町村、医療機関、医師会等関係団体と協力し、新型コロナウイルス感染症の克服に大きな期待が寄せられているワクチン接種に、しっかりと取り組んでまいりたい。

本日も、本部員の皆様に専門的立場から御意見をいただき、本県のワクチン接種体制の整備に活かしてまいりたい。

2 議題（1）愛知県内の医療従事者等及び高齢者向け優先接種のスケジュールについて

○事務局から、資料2により説明

愛知県医師会 浅井副会長：

医療従事者等へのワクチン接種が遅れている。変異ウイルスが出始めている中、ワクチンを地域で一斉に打てることが重要である。高齢者向け接種を担当する医療従事者等のワクチン接種をまず行わないと、高齢者向け接種に影響が出てしまう。

事務局：

市町村や各医師会と連携し、高齢者接種に影響が出ないよう配慮していきたい。

愛知県感染症対策局 増野技監（本部長）：

ワクチンの供給量も増え、医療従事者等向けのワクチン接種の遅れについては、今後改善できると考えている。

愛知県病院協会 岩瀬常務理事：

高齢者向け接種を行う医療従事者の接種については、ワクチン供給量が増えることもあり、今後は、人口や患者の多い地域などを考慮して、有効に配分してほしい。

ワクチン配分される日について、予めできる範囲で情報の展開を期待する。

事務局：

市町村の希望数量、高齢者接種のニーズに応じて配分してまいりたい。

名古屋市健康福祉局 新型コロナウイルス感染症対策部 木村部長：

ワクチン接種予約が開始されたが、予約申し込みが大変集中し、なかなか予約ができない状況である。

ワクチンの供給について、第5クール（5月10日の週、5月17日の週）の2週間のうちで、ワクチンがいつ配送されるかわからない中で接種スケジュールを組まざるを得ないので、国からのスケジュールが具体的に示されると対応しやすい。

事務局：

国の配送スケジュールについては、具体的な日時を早く示してもらうよう要望しているところであるが、引き続き要望していく。

3 議題（2）基本型・連携型接種施設間のワクチン配送について

○事務局から、資料3により説明

4 議題（3）「第3回 県・市町村新型コロナウイルスワクチン接種連絡協議会」、「第4回 県・市町村新型コロナウイルスワクチン接種連絡協議会」の結果概要について

○事務局から、資料4及び資料5により説明

愛知県医師会 浅井副会長：

接種間隔の誤りのような、いわゆる予防接種の事故は、愛知県では、これまでに起こっているか。

事務局：

これまでに、県に事故の報告はない。

愛知県医師会 浅井副会長：

ファイザー社のワクチンとモデルナ社のワクチンについては、接種間隔が3週間（ファイザー）と4週間（モデルナ）と、異なっている。可能であれば、一つのワクチンに統一した方が、予防接種事故を回避するという点で必要と考える。

名鉄病院予防接種センター 菊池センター長：

ワクチンの配送について、当院は基本型接種施設であるが、日曜日に配送されることもあるなど、対応が大変なときもあり、配送日時を希望できるとよい。

事務局：

基本型接種施設へのワクチン配送については、日にちについては事前に把握できるが、時間については当日にならないとわからない。事前に示してもらえないか、引き続き国へ要望してまいりたい。

瀬戸保健所 澁谷所長：

予防接種の事故について、接種間隔や温度管理の面で、誤りを起こすリスクが考えられるため、いわゆるヒヤリハットのようなものも含めて情報収集し、市町村へ情報提供できる仕組みがあれば、次の事故を防ぐことにつながるのではないか。

大口町 吉田地域協働部長兼新型コロナウイルスワクチン接種推進室長：

財政措置については、国の支援を前提として補正予算を組んでいるが、補助金や負担金の内容等について、国は、明確に示してほしい。

また、国のスケジュール発表により、スケジュールがタイトになると、対応が困難になる。要望であるが、行政事務の分かった方の人的支援がいただけるとよい。

名鉄病院予防接種センター 菊池センター長：

広く、たくさんの人に、ワクチン接種を推進していく必要がある。個別接種では、多数を接種することが困難であるため、集団接種で多数の方に接種していただくことが重要と考える。県には、集団接種をより推進する方向で進めていただけるとよい。

当病院にも、毎日、多数の、ワクチン接種の予約などに関する問い合わせがあるが、この状況が続くと、治療が必要な患者への対応に支障が出てしまうこともあり得るため、できるだけウェブサイトを見ていただく等、医療機関等への問い合わせが最小限となるように、報道機関にも協力をお願いしたい。また、接種を受ける方には、接種の際には、肩を出しやすい服装で来ていただけるとよい。

今後、体調不良などの、接種当日のキャンセルにより、ワクチンが余った場合、広く、たくさんの人にワクチン接種する観点から、予診票のない人へ接種することも策だと考える。予診票のない人へ接種ができるような指針が示されるとよい。

事務局：

現状、国の手引きにより、予診票のある人に接種するように規定されているが、国から取り扱いの変更等通知があれば、至急周知する。

新城市 広瀬副市長：

接種会場や診療所への移動が困難な在宅療養の方に対して、要望ではあるが、LINE のテレビ通話やズームを利用するなどして、リモートで診察し、訪問看護の看護師が接種することはできないか。中山間地域においては、家と家の距離があるため、一人目の接種から、次の接種に行くのに時間を要し、ワクチン接種が遅れていくことがあり得る。

事務局：

要望としては承った。現状は、手引きにある巡回接種で対応することになる。

5 閉会挨拶

愛知県感染症対策局 増野技監：

本日は貴重な御意見をいただいた。今後も円滑なワクチン接種が進むよう、皆さまに御協力いただき、頑張ってまいりたい。

以 上